

A close-up photograph of a woman with long brown hair, smiling warmly as she holds a sleeping baby in a light blue baby carrier. The carrier is a wrap-style carrier with multiple straps and buckles. The woman is wearing a white t-shirt and a white cardigan. The background is a blurred brick wall. The text 'boba Bliss' is overlaid on the right side of the image.

boba[®]
Bliss

ボバブリス日本語説明書

ボバブリス使い方説明書

はじめに

ボバブリスでの抱っこは驚くほどぴったりとして快適ですが、赤ちゃんにもあなたにも新しい体験だということをお忘れなくください。

初めてキャリアを使用するときは、赤ちゃんのお腹が満たされていて、疲れすぎないように注意してください。鏡の前で練習してみましょう。

赤ちゃんがぐずり始めたら、深呼吸をして部屋の中を少し歩き、二人の準備が整うまで待ちましょう。

赤ちゃんが装着者の体にぴったりと密着して、頭が胸の高い位置にあり、ちょうど腕で抱っこしているかのように普通に立てることが正しい姿勢です。

はじめに、目次	2	各部名称、お手入れ方法	7
参考動画一覧	3	使用方法	8
安全に関する注意事項	4	安全でスムーズな使い方	10
安全のためのガイドライン	5	ショルダーストラップループの使い方、 体にフィットさせる方法	11

参考動画一覧



P8

ボバブリス装着方法
<https://youtu.be/S856ligiMr8>



P9

安全ゴムループの使い方
<https://youtu.be/S856ligiMr8>



P10

赤ちゃんの姿勢の整え方
<https://youtu.be/BQY2c4f3yxs>



P10

赤ちゃんの頭の支え方
https://youtu.be/Ep9Hj_Z2LTM



P11

ループの使い方
<https://youtu.be/z8QnlvGuY2k>



P11

体にフィットさせる方法
<https://www.youtube.com/shorts/XvfxBEVvEtw>



授乳の仕方
<https://youtu.be/Xuy9sePvav4>

この説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。
ご使用前にこの安全に関する注意事項をよくお読みください。

本製品は下記の安全規格に適合しています。
ASTM F2236-16a/CEN 16512-2015/CPSIA
モデル：ボバブリスベビーキャリア
対象：約 3.2 ~ 16kg | 誕生 ~ 18 ヶ月

- 抱っこ紐を活用することでハンズフリーとなり、他のことができるようになりますが、常に積極的にお子様に注意を払わなければなりません。安全のためのガイドラインを参考に、説明書に従って慎重に使用してください。
- ボバブリスで赤ちゃんを抱っこするときは、常識と最善の判断で赤ちゃんの安全と安心を確保してください。
- 常にお子様の様子を観察し、赤ちゃんの顔が見えること、口と鼻が塞がれていないことを確認してください。赤ちゃんの鼻は常に地面と平行かそれより上を向いていることが必要です。授乳後は忘れずに赤ちゃんを高く抱きなおしてキャリアを締め直してください。窒息の危険がある柔らかな物を赤ちゃんと一緒に抱っこ紐の中に入れてください。
- 赤ちゃんを外環境から保護するようにしてください。腕、足、頭には日焼け止めが必要な場合があります。赤ちゃんには天候に適した服を着せ、熱中症となるような環境での使用は避けてください。
- 抱っこ紐に摩耗や損傷の兆候がないか、定期的に点検しましょう。縫い目やストラップ、布地に裂け目がないか、バックルと調整部分がすべてしっかり固定されているか、毎回使用前に確認してください。ウエストバックルがしっかりと固定されていることを、「カチツ」という強い音を聞いて常に確認してください。バックルを外すには、両側を同時につまんでください。
- ご自身が体を前方や側方に曲げたり傾けたりするときは注意してください。しゃがむときには背中を守るために、必ず膝を曲げてください。装着者の動きやお子様の動きが、装着者のバランスに影響を与えることがあります。お子さまが活発に動くようになると、キャリアから転落する危険性が高くなることに注意してください。

- 電気製品を操作しない、熱源に近づかない、赤ちゃんを抱っこしたまま調理をしない、熱い飲み物を飲まないなど、家庭環境での危険性に注意してください。
- 抱っこ紐は、ランニング、サイクリング、水泳、スキーなど、衝撃や転倒の可能性が高い動きの激しいスポーツ活動には適していません。(腰ベルトの内側にある「落下危険警告」ラベルを参照してください)。
- この抱っこ紐は、筋肉、骨格、背中、脚など、安全な使用を妨げる可能性がある身体的不自由のある人が使用しないでください。アルコールまたは薬の影響下にある場合は、抱っこ紐を使用しないでください。運動中、眠気、病状などにより、バランスや運動機能が低下している場合は、やわらかな抱っこ紐を絶対に使用しないでください。
- ボバブリスは車や自転車のシートの安全装置ではありません。自動車の運転中や同乗中は、絶対に抱っこ紐を着用しないでください。
- 赤ちゃんの月齢と体重に合った抱っこ紐のみを使用してください。
- 落下による危険を防止するために、お子さまが抱っこ紐にしっかりと固定されていることを確認してください。
- 足の位置など、お子様を製品に正しく装着してください。
- 未熟児、呼吸器に問題のある赤ちゃん、4ヶ月未満の赤ちゃんは、窒息の危険性が高くなります。
- お子様のおごが下を向いていないことを確認してください。呼吸が制限され、窒息の原因となることがあります。
- 未熟児、低出生体重児、持病のあるお子さまは、本製品を使用する前に医療従事者のアドバイスを受けてください。
- ボバブリスは、対面向き前抱っこ専用設計されています。絶対に赤ちゃんを外向きで抱っこしないでください。ボバブリスには、一度に複数の赤ちゃんを入れないでください。
- Boba Inc. 及び、総輸入代理店 株式会社スマートトレーディングは、抱っこ紐の不適切な使用による事故や破損についての責任を負いません。
- この抱っこ紐を使用しないときは、お子様の手の届かないところに保管してください。

安全のためのガイドライン

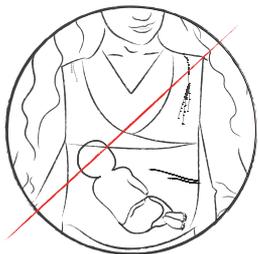
ベビーキャリア自体は安全器具ではなく、抱っこ補助具です。
抱っこをするあなたが赤ちゃんの安全に責任を持ってあげてください。

以下のガイドラインをお読みいただき、赤ちゃんが安全に抱っこされていることを確認して下さい。



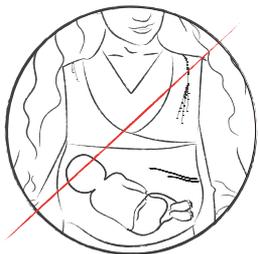
正しい位置

あごが上を向いて顔が確認できる、
口と鼻がふさがれていない



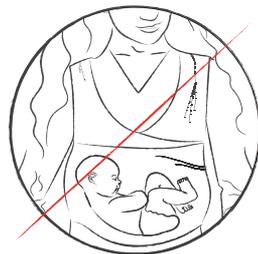
誤った位置

顔がふさがれている状態



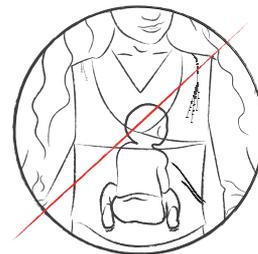
誤った位置

低すぎる状態



誤った位置

背中が丸まって顔と
あごがくっついた状態



誤った位置

顔が着用者の体に強く
密着した状態

- 常に赤ちゃんの気道が確保され、呼吸が出来ていることを確認してください。ベビーキャリアは両手が空き、いろいろなことができる便利な補助具ですが赤ちゃんのことを常に気にかけ、注意を払ってください。どのベビーキャリアも赤ちゃんの気道の確保を保証することはできません。
- 赤ちゃんのあごが埋まってしまうたり、頭が胸に押し付けられたりするようなことは決してしないでください。このようなポジションは赤ちゃんの呼吸を妨げます。このルールはベビーキャリアの使用の有無、チャイルドシートの使用、その他補助具などに関わらず全ての抱っこやおんぶ、装着に関して適用されます。特に新生児は自分自身で気道を確保する筋力がまだないのでこのような状況では窒息してしまいます。
- 赤ちゃんの頭や顔が布で完全に覆われてしまうことの無いようにしてください。完全に覆われていると簡単に、頻繁に赤ちゃんの様子を見ることができません。
- ジョギングやランニング、その他激しい運動など赤ちゃんが強く揺さぶられたり、上下に揺れたりするような運動は決してしないでください。このような衝撃は赤ちゃんの首、背骨や脳に損傷を与えることがあります。
- ベビーキャリアを使用しながらの車の運転や自転車の走行は決してしないでください。ベビーキャリアはチャイルドシートや自転車の幼児用シートのような防護能力はありません。

- 赤ちゃんの月齢（年齢）や体重に合わせたベビーキャリアのご使用をお願いいたします。
- 定期的にベビーキャリアの点検をしてください。生地や縫い目、バックルや調節具などの確認をお願いいたします。毎回使う前に確認いただくようお願いいたします。もし、キャリアに問題があるようであれば使用を中止してください。
- 落下の危険性があるような活動は避けてください。原則として、妊娠中に行けないと思われる活動は、ベビーキャリアに赤ちゃんを抱っこやおんぶをしながらすべきではありません。むしろ、妊娠中の方の赤ちゃんはお母さんの体などで守られていますが、ベビーキャリアは基本的に保護能力はありません。はしごを登ったり、馬に乗ったり、スケートやスキーなどは落下の危険性がとても高い活動です。また、ポーリング、セイリング、雪や氷の上など滑りやすい場所によっても危険性が高まります。
- なんらかの防護器具を使用しなければいけないような活動を赤ちゃんを抱っこやおんぶしながらするのは避けてください。ベビーキャリアは赤ちゃんの目を守ったり、落ちたり飛んできたりするもの、煙やホコリなどから守ってはくれません。

- 赤ちゃんの手が届く範囲を確認して下さい。ベビーキャリアの中に誤飲をしたり、引っかかったり、突き刺さったりする小さなおもちゃや紐などをいれないでください。

- 抱っこしながら熱いものを飲食しないで下さい。
- 前かがみになったり、しゃがんだりする際には赤ちゃんを腕で支えてください。しゃがむときは必ず膝を曲げてください。

ベビーキャリアを調節したり、赤ちゃんの位置を調整したりするときに、下記の点にご注目ください。

- 腕で抱っこしている時と同じように、赤ちゃんは胸の位置で常にあなたの体に密着しているはずですが、ベビーキャリアで抱っこするときも、背中や腰が痛くはなりません。もし、どこかに痛みがあるようであれば、赤ちゃんを低い位置で抱っこしすぎか、ベルトを締め過ぎている、あるいはどこかの生地がねじれている可能性があります。
- 赤ちゃんが座るキャリアの部分はおしりだけでなく、赤ちゃんの膝裏までしっかりと覆えているはずですが、もし、ベビーラップをお使いであれば、生地の幅が広ければ広いほどよりサポートできます。

- 縦抱きの際には、赤ちゃんの膝がおしりの位置より高い位置になるようにしてください。これにより、股関節窩、骨盤、背骨が自然な丸いポジションに収まります。赤ちゃんの足をお尻の下に入れなくてください。足が圧迫され、血流が妨げられたり、神経が圧迫されたりします。
- キャリアで抱っこしながら授乳した後は、再度調節をして体が密着するようにしてください。常におでこにキスできるぐらい近いのが理想です。

【落下及び窒息の危険性】

警告

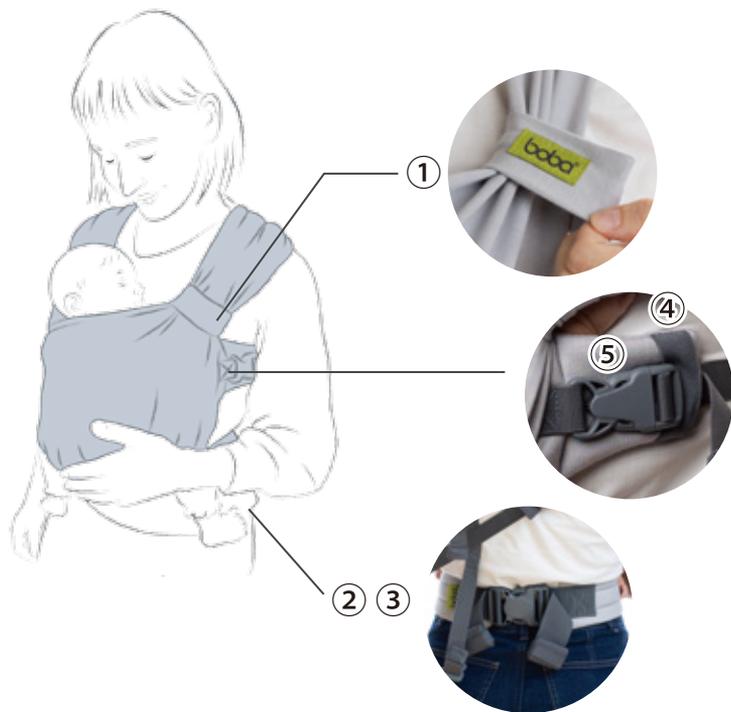
落下の危険性

乳幼児は、広い足の開口部分から落下したり、キャリアの外に出たりする恐れがあります。赤ちゃんの脚にぴったりとフィットするように、足の開口部分を調節してください。使用する前に、その都度すべてのバックルと調節部分がしっかりと固定されていることを確認してください。体を傾けたり、歩いたりするときは特に注意してください。腰を曲げずに、膝を曲げてください。このキャリアは3.2～16kg（7～35ポンド）のお子様のみご使用ください。

警告

窒息の危険性

4ヶ月未満の乳幼児は、顔を体に強く押し付けると窒息することがあります。乳幼児を身体に密着させすぎないようにしてください。頭を動かすためのスペースを確保してください。乳幼児の顔は常に障害物から遠ざけてください。



- ① ループ (ショルダーストラップループ)
- ② 腰ベルト
- ③ ウエストバックル
- ④ 安全ゴムループ
- ⑤ バックル

お手入れについて

- ポバブリスは、中性洗剤で汚れを落として自然乾燥させることで、抱っこ紐の寿命が飛躍的に伸びます。ポバブリスは洗濯機で洗うことができますが、絶対に必要な場合にのみ冷水と中性洗剤で洗ってください。
- 乾燥機の使用は避けてください。
- 漂白をしないでください。
- 適切なお手入れ方法に従わないと色あせや色抜けが発生することがあります。



使用方法

1



背中がウエストバックルを留めて調整します。
抱っこ紐本体が前に垂れ下がるようにします。
※ショルダーストラップにあるループを抱っこ紐の本体の近くにしておくと、とどまって調節しやすくなります。

Hint



※ループが落ちないように注意

2



赤ちゃんを胸に抱っこして両足を広げます。
両足が腰ベルトにかかるようにします。

3



赤ちゃんをしっかりと支えながら、抱っこ紐の本体を赤ちゃんの背中にかぶせます。空いている側の手で片方のショルダーストラップを持ち、肩にかけます。
手を入れ替えて、もう片側の肩に2本目のショルダーストラップをかけます。赤ちゃんがキャリアアの中央にいることを確かめてください。



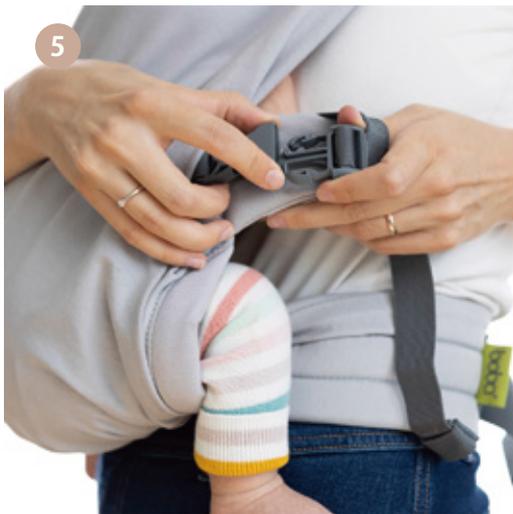
▶ポパブリス装着方法の動画はこちら

4



ショルダーストラップの端を背中に垂らし、背中で交差させます。腕で赤ちゃんをかかえて支え、次のステップ⑤で示すように両手でショルダーストラップを抱っこ紐の本体にバックルで留めます。

5



バックルを安全ゴムループに通し、カチッと音をさせて固定します。ベルトの余分な部分は安全ループに通して引き込みます。



安全ゴムループ

6



赤ちゃんをおへその高さまで持ち上げ、調節ストラップを引き下げてショルダーストラップを締め、しっかりとフィットするようにします。反対側も④と⑤を繰り返して固定します。



▶安全ゴムループの
使い方動画はこちら

Hint

1



赤ちゃんを抱っこしたら、ふくらはぎを優しくすくい上げるようにして骨盤を整え、膝を腰の高さ以上にし、背骨を優しく丸め、人間工学的に自然な姿勢にします。

Hint

2



赤ちゃんをしっかり支えることができるよう、生地は赤ちゃんのお尻と太ももを膝の裏までしっかりと支えるようにします。

Hint

3



赤ちゃんが眠っているときは、伸縮性のあるコットン生地で頭を支えることができます。

注意

生地が赤ちゃんの顔を覆って口や鼻が塞がれないようにし、赤ちゃんの気道が確保されていることを確認してください。

Hint

自然で健やかな赤ちゃんの姿勢を確認してください

骨がやわらかく靭帯や筋肉が未熟な新生児は常に対面で、ひざの頂点がおしりよりも少し高い位置になる M 字開脚姿勢をとります。こうすることで、股関節の骨盤と背骨は自然な丸みのある J 字型のポジションに収まります。新生児の腕はひじを曲げた W 字形が自然です。



▶ 姿勢の整え方
動画はこちら



▶ 頭の支え方
動画はこちら

ショルダーストラップのループの使い方



ショルダーストラップのループをスライドさせることで、赤ちゃんの頭部を最適にサポートすることができます。

注意

赤ちゃんの顔が常に見えるようにして鼻を少し上向きにし、気道が塞がれていないことを確認します。



▶ループの使い方
動画はこちら



ループをキャリア本体側にスライドさせると、空気の流れがよくなり、視界が広がります。



赤ちゃんが眠ってしまったらループを上へスライドさせて、頭をショルダーストラップの生地で支えます。

体にフィットさせる方法



ショルダーストラップを広げて肩を覆い、背中で生地を広げることで、最高のサポート力と安全で快適な抱っこができるようになります。赤ちゃんを抱っこしていても背中が痛くならないことが大切です。



▶体にフィットさせる方法
動画はこちら



背中が痛くなる場合は、キャリアの装着がゆるすぎるか、きつすぎるか、生地がよれている可能性があります。今一度ご確認ください。